

ホタテガイ採苗速報

西湾では間引きを進め、東湾では間引きを開始してください

1 各地採苗器への付着状況

6月4日～6日に行った臨時付着稚貝調査の結果は、表1(別表)および図1～図3のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、間引き前のもので西湾が93,184個/袋、東湾が462,848個/袋(第1回付着稚貝調査時はそれぞれ76,389個/袋、319,808個/袋)でした。また、西湾の間引き後の平均付着数は28,288個/袋でした。

稚貝の平均殻長は、西湾の間引き前のもので2.82mm、間引き後で2.79mm、東湾(間引き前)で1.53mm(第1回付着稚貝調査時は西湾で1.35mm、東湾で0.94mm)でした。

キヌマトイガイとムラサキイガイは、全湾平均(間引き前)でそれぞれ135,233個/袋、27,051個/袋(第1回付着稚貝調査時はそれぞれ63,453個/袋、17,245個/袋)でした。

なお、ヒトデとウミセミの付着はほとんど見られませんでした。

2 海況

各ブイの6月2日～8日の週別平均水温は、表2のとおりです。半月別水温は、平館ブイと東湾ブイの15m層でかなり高め、青森ブイの15m層ではなはだ高めとなっています。

表2 各ブイの1週間(6/2～6/8)の週別平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	12.7～14.5	東田沢ブイ	13.0～15.3	横浜ブイ	13.4～15.6
奥内ブイ	12.7～14.8	野辺地ブイ	12.1～15.5	浜奥内ブイ	13.8～15.7
青森ブイ	11.2～15.7	東湾ブイ	10.1～15.0	川内ブイ	11.9～15.0

3 今後の見込み

西湾では稚貝が確実に目で見えるサイズ(殻長2～3mm)となっていますので、引き続き間引き作業を進めてください。

東湾ではホタテガイ稚貝が目で見えるサイズ(殻長1～2mm)で間引きできる大きさになっています。付着数が非常に多い採苗器は稚貝の成長が悪くなり、稚貝採取が大幅に遅れる可能性があるため、間引きを開始してください。

ヒトデのブラキオラリア幼生が見られなかったことから、今後ヒトデが大量に付着する可能性は低いと思われます。また、ウミセミによる食害を防ぐため、穴の開いた袋は使わないようにしてください。

6月20日に第2回全湾一斉付着稚貝調査(間引き前の上、中、下段と間引き後の中段、合計4袋)を行いますので、稚貝採取時期については6月23日発行予定の採苗速報第10号を参考にしてください。

※袋替えおよび間引き作業の注意点

- ・採苗器の状況を十分に把握する(稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等によって異なる)。
- ・稚貝へのショックは出来るだけ少なくする(間引きを行う場合は、流網などの付着基質を上下に振るだけにして船べり等に叩き付けない)。
- ・採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする(2万個程度になるように)。
- ・作業後は、施設を安定させる。
- ・ヒトデの付着が見られるときは、結び目をよく洗う。

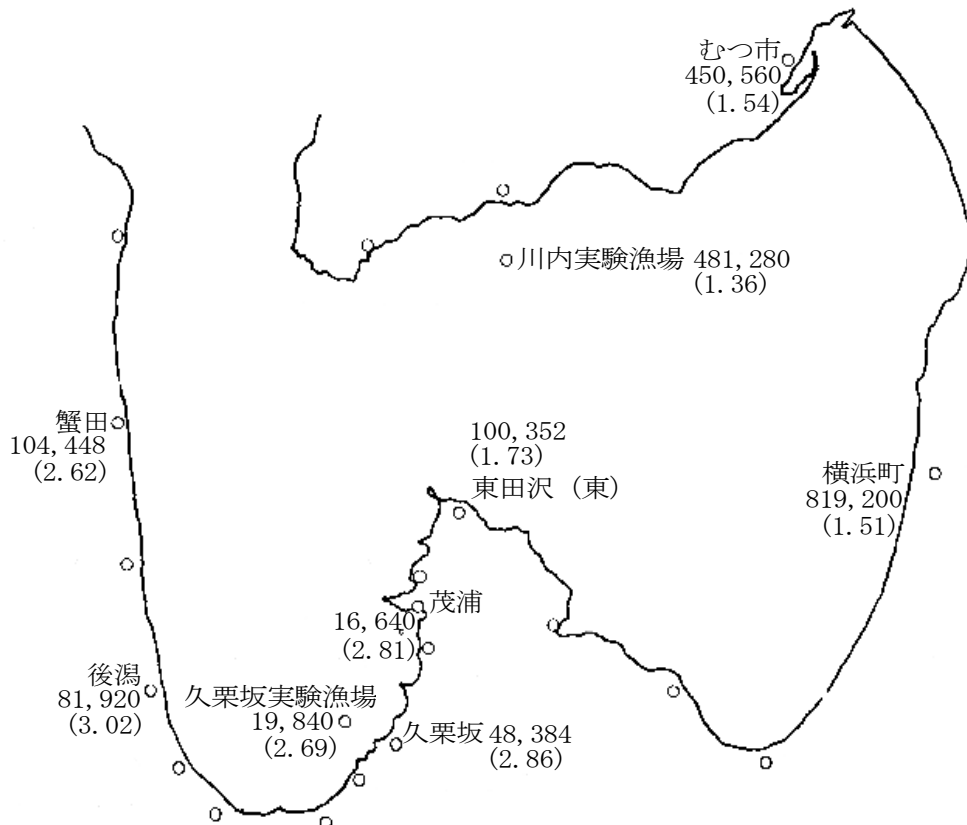


図1 調査地点毎のホタテガイ付着数[単位: 個/袋(平均殻長mm)]

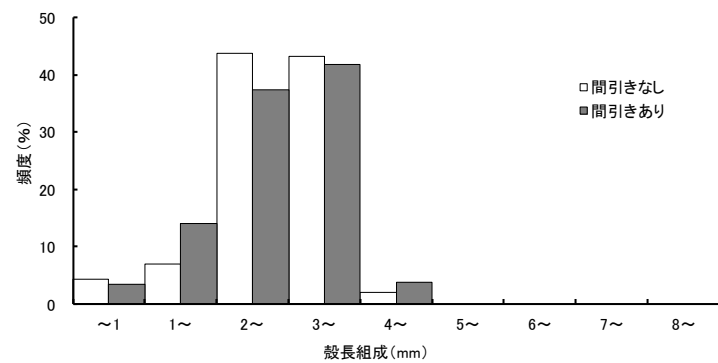


図2 臨時付着調査時のホタテガイ殻長組成(西湾平均)

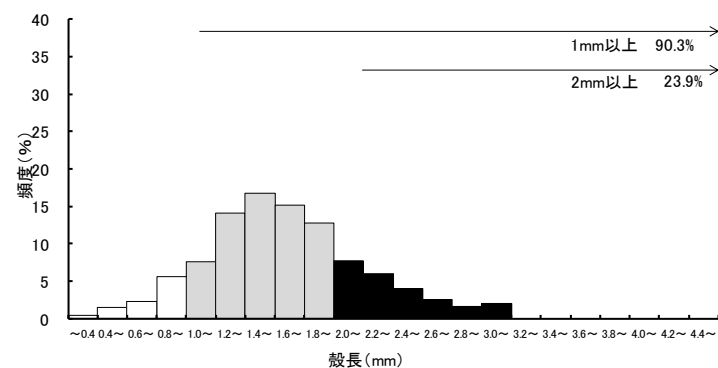


図3 臨時付着調査時のホタテガイ殻長組成(東湾平均)

